



## きららとコシヒカリは、どちらがうの

### お米の種類がちがい

コシヒカリは、日本でいちばんたくさん植えられている、ねばり気のある、おいしいお米の品種名です。でも、寒さに弱く、くきがたおれやすいなど、さいばいがむずかしい品種です。1956年、福井県で生まれました。

きらら397は、北海道を中心にしてさいばいされている、寒さに強い性質のお米の品種名です。シマヒカリとキタアケとよばれるお米を、かけ合わせて生まれた品種で、コシヒカリの子孫になります。

### お米の家系図

主食であるお米は、たくさん収めたい、味のよいものにしたい、台風や低温に強い品種にしたい、寒い所でも育つものにしたいなど、長い間、研究が重ねられてきました。そして、今では、いろいろな性質や特長をもつ、たくさんの米の品種が生まれています。いい性質や特長をもつ品種どうしを、いろいろに組み合わせると、すばらしい性質をもった子孫が生まれてくる場合があります。こうして、「品種改良」が行われてきました。

今、食べている、おいしいお米のほとんどは、明治時代につくられた、「旭」と「亀の尾」という品種の子孫です。お米にも、祖先をたどる、家系図があるのです。

(監修・矢野 亮)

お米の家系図

